

第1回ワシントン大学研修訪問団 報告レポート集



研修日程： 2015年8月29日(土)～9月22日(火)
研修先： University of Washington





アメリカに着いた日、空港からホームステイ先に向かう 1 時間半の車内でわたしは今までに感じたことがない焦りを感じました。ホストマザーが助手席に座ったわたしにたくさん話かけてくれるのですが、ほとんど何を言っているかわからない、そして、分からないのに分かっているふりをして頷いてしまう自分。こんな自分のことが嫌になって落ち込みました。学校が始まって、自分の英語力が低いことがばれたくないと思い、自分の思っていることを言うことができないままでした。

しかし、アメリカはそんなわたしをかばってくれる国ではありません。わかったら、わかった、わからないならわからないとはっきり言わないとだめなのです。ホストマザーはわたしから話さないほとんど何も聞いてくれませんでした。そして、2、3 日ほど経った日に今日は絶対しゃべりかけると決意し、ホストマザーに片言の英語で今日あったことを話してみました。ホテルでハンバーガーを食べたよ。すごく美味しかったよ。と。すると、笑顔でわたしの話を聞いてくれて、なぜホテルでハンバーガー食べたの？ホテルよりハンバーガー屋さんの方が美味しいよと笑いながら言ってくれたのを鮮明に覚えています。この時からわたしは段々積極的に話しかけられるようになりました。失敗するのではないか？という不安から始まるのではなく、とりあえずしゃべってみようという考え方に変わってきたのだと思います。

この経験によって、失敗を恐れずに勇気を出して現状を変えることが大切だと思いました。人間的に少し成長できたと思います。将来についても同じように考えるようになりました。まだ、将来何になりたいかははっきりと決まっていますが、自分に可能性のあるもの、興味があるものは、失敗を恐れずに積極的にチャレンジしていこうと思いました。



ホストマザーと最後のお別れ

MY FIRST TRIP ABROAD

I always think too much before I do something. So I sometimes cannot do that I want to try. However, in this time, I proposed this program immediately. In this program I try everything I want to do. For example, first I wrote diary every day in English. Because I'm not good at English. So I tried to use English. Next, I went to a lot of museums. I like to see interesting things. In particular, I was excited at THE CHIHULY GARDEN and THE MUSEUM OF FLIGHT. There was so beautiful. I want to go there again. Then I tried to ride a canoe for the first time. I had decided to do that since I was in Japan. It was very interesting, difficult and also scary. Because my friend fell from their canoe and into the lake. Then I went to wood land park zoo with my lunch that I bought at PCC market. I wanted to do that American do in everyday life. I wanted to do to be able to feel that this is my daily life. I could do that. So I was very happy.

And, I try to talk with American. At book store, I asked salesclerk the book which matched me. I told her what kind of book I want. She selected a few books for me. When I bought two books, I talked to her about me. She listened that with smile and talk to me. I went home with being happy. Than, at downtown, I asked a woman where the bus stop was. She take me to the bus stop. While we went there, I talked to her. She was graduated student of UW. She graduated UW a year ago. When I couldn't understand what she said, she expressed it in other words. So I try to talk to her about me in English. I couldn't speak English well, but I could talk to her. It was good experience for me. And I did final project very hard. Almost people I asked answered my questions with smile. Sometimes people said, "No.". So I broken hart. However my friends advised it for me. I could continue it. The day before our presentation, we practiced it. We advised it each other. I got good advices from my friends. I could success my presentation. I want to say, "Thank you." to my friends.

My valuable experience was having gone to church and participated in mass. I like the time when I say to nearby people, "peace with you". I became happy at that time.

I think this program is my best experience. I got a good idea that I have to do before thinking too much. And I can do interesting things if I do everything positively. Then, one of the best things is having been able to meet a lot of good people. If I didn't participate it, I couldn't meet there. I got good stimulus from there. Before I went to Seattle, I didn't know what I want to do. Now I feel like having found what I have to do.

I think I should try to do that I can make first.

Thank you.

Experience in Seattle

Kazuhide Kuroki

I had been abroad a few times before going to Seattle, but I had never communicate a lot with foreigners in English. Therefore, I was very insecure about if I would communicate with local people. When I went there, my host family received me very kindly, and they spoke slowly because they knew that I was bad at speaking and listening in English. Then, I was happy and could relax. Besides my host family took me to play soccer with their friends. As the result, I could practice to communicate with local people, and I came to understand more what they said day by day.

In University of Washington, I had some classes. In it, I studied English's pronounce, grammar, and so on. I was surprised at the difference between the English I learned in Japan and the English actually spoken and I felt it was very good for me to learn this difference in it. These classes put stress on practicing to have a conversation in English, so I think they are much more than classes in Japan about English in daily life.

I had thought that English is necessary for me in the future, so I must study English. However, I have think that I want to study English regardless the need of English since I finished this trip. Unconsciously, I came to think like this through this trip. I am surprised that my thought changed. I think this reasons are that I could not communicate very well with local people and that I spent about three weeks beneath this situation. I am very glad to change my thought because I could not study English positively from the thought that I must study it for my future.

私は今まで行ってきたような英語を読んだり書いたりするような勉強方法ではなく、実際に英語を話さないと生活できないような環境に身を置くことで少しでも自分の英語力の上昇に繋がれば、と思い、普段よく耳にする英語を話すアメリカに語学研修団として参加をすることに決めた。

今回私たちが行ったシアトルは大都会でありながらも豊かな自然に囲まれ、湖に面した、とても美しい街だった。8月後半という日本では猛暑にも関わらずシアトルでは非常に涼しく、少し肌寒く非常に乾燥していた。私のホストファミリー宅では、私の部屋は地下にあり、私たち交換学生専用のものだと思われるリビングやシャワー室、キッチンなどがあった。私のホストファミリーは宅には12歳の娘と8歳の息子、そして中国人の英語の先生が二人いた。夕食には私たちに気を使ってよくアジア料理を作ってくれた。ホストマザーの作る料理はいつも美味しかった。食事中は大抵音楽がかかっており、皆で会話を弾ませながら楽しく過ごした。そのため私にとって夕食の時間は毎日の楽しみの一つでもあった。しかし食事の前後のあいさつがないため違和感がした。また、立って食べたり、食事が始まる前から食べる人もおり、少し驚いた。

今回私たちが参加したワシントン大学はアメリカの名門大学の一つであり、歴史が長く、校舎も広く立派で、設備なども日本と比べものにならない程整っており、学習するのに最適な環境だった。私たちが参加した **Short Term English Program** というプログラムは午前みの授業であり、午後のアクティビティがある際にはシアトル市内の有名な観光地であるパブリックマーケットやショッピングモールなどに出かけた。授業内容はとてもユニークで、英語を書いたり読んだりすることはほとんどなく、グループ内で英語で話したり、英語でプレゼンテーションをしたり、町に出て現地の学生やカフェの店員に質問をするなどした。日本であまり英語を使う機会はなかったため、これらを通していかに自分が活きた語を使えなかったのかを実感できた。同じクラスの人たちは皆意識が高く、英語に対する熱意があり、自分にとって良い刺激になった。学校がない休日には、私たち自身で予定を立て出かけることが多かった。スペースニードルでシアトル市内を一望したり、ダウンタウンで有名なお店に入ったり、マリナーズの試合やワシントン大学のフットボールの試合を観に行ったりなどシアトルを満喫できた。始めはバスの乗り方さえ分からなかったため現地の人に何度も声をかけた。アメリカでは話さないと生きていけない国だと強く実感した。改めて考えると英語を話す良い勉強になった。

この三週間は長いようであつという間だった。それだけ充実した濃い時間を過ごすことができた。この語学研修を通して英語力だけでなく、自分で考えて行動する力も身に着いたと思う。英語に囲まれて生活することで、自然と必死に理解しようと英語を集中して聞くようになった。一生の思い出に残る、貴重な体験ができた。有難うございました。

My Stay in Seattle

Moe Takami

The best thing that I got through this trip is my friends: classmates, my teacher, students from University of Hyogo, and a host family. I was in Mary`s class, and I had 16 students in my class. The class was very interesting. They were all kind and friendly, can speak English well, and have unique personality. We talked a lot and went to various places in Seattle. They inspired me. I`m very sad because the class was over. We promised to keep in touch. I joined in afternoon activities with friends from University of Hyogo. We are all close. We often went out together on Sunday or Saturday. It`s my good memory to see the baseball game with them. My host father was Chinese and mother was Filipino. I could see difference in culture through a life with them. All of them made my trip great!

During the stay, my English improved a little. On first Sunday of my stay, I went to church with my host family. I hardly understood what a minister said. But on last Sunday, I somehow understood what he said. I felt my listening skill have improved. Also, my host father said your speaking got better. I was very glad.

I had a great experience in this trip. I really think it was a good thing that I participated in this program.

約三週間にわたるワシントン研修が終わった。初めは留学というものの自体僕にはとても遠いものだと思っていたが、留学の資料を読んでやってみたくらい、参加申し込みをした。

シアトルに着いていきなり事件が起きた。本来お世話になるはずだったホストファミリーが行方不明になったのだ。大急ぎで他のホストファミリーを見つけていただいた。母が日本人、父がアメリカ人で、高校生の男の子二人がいた。子供二人(Niko ちゃん Win ちゃん)とは一緒にテニスしたりフリスビーしたり同じ留学仲間とホラー映画を見に行ったりもした。家がとても大きく、電気ゼロにした中でのかくれんぼは本当に楽しかった。日本人三人と Win ちゃんですらホラー映画を見に行っただけですがもちろん現地はアメリカだったので字幕があるわけもなく、Win ちゃん一人が内容を理解して笑っていた。その時、とっても悔しくて、もっともっと英語を学んで、字幕なしの映画を見て笑えるようになりたいと思った。

好きな話題について質問を 10 個考え、街中に出て生の声を聴き、それをもとに英語でプレゼンテーションをするという授業があった。これが一番、自分の英語力、コミュニケーション能力にいい方向に働きかけられたと思う。

研修を通してアメリカ、英語に対する壁が小さくなり、観光しつくしたシアトルが大好きになった。また行く機会があれば、「ただいま。」と言えらと思います。

私は今回のこの留学を経て、たくさんの人と関わりをもつことができました。出国までに研修団の仲間とは1回しか顔合わせをする機会がなく、ほとんど顔見知りの状態から留学をスタートさせることになりました。初めは慣れない土地で、日本語が通じない環境に戸惑いを感じていましたが、ホストファミリーを初め、ワシントン大学の先生やクラスメイトと英語で話すうちに徐々にアメリカでの生活に慣れることができました。午後にフィールドワークがある日の昼食は研修団で集まって食べていたので、お互いに話す機会も増え、帰国までには、たった3週間の付き合いとは思えないほど仲良くなれたと思っています。本当に毎日が新しい発見でいっぱいの楽しい、有意義なアメリカ留学でした！

①自分自身の体験

・ワシントン大学での授業

私がいたクラスには、日本人以外に中国やアラブ、ドバイなど様々な国籍を持つクラスメイトたちがいました。人によって英語のスピーキング力、リスニング力、良く使う英単語などが異なっていたので、初めはどのようにコミュニケーションをとればいいのか分かりませんでした。しかし、英語を話す以外にも、紙に書いて伝えたり、ジェスチャーを使ったりして、徐々に自分の思っていることを相手に伝えられるようになり、相手と自分に合ったコミュニケーションの取り方がわかってきました。私は将来、看護職に就くことを目指していますが、この体験は、私が看護という専門職に就いた時に、専門知識を一般の人々に伝えるうえでとても大切な体験だったと思います。

・ホストファミリーとの関わり

今回の研修でのホームステイは同じ研修団員の子と2人ペアで同じホームステイ先に行きました。ホストファミリーはとても暖かく私たちを迎えてくれました。これからホームステイさせてもらう感謝の気持ちとして、日本のお菓子や折り紙をプレゼントしました。私たちのホストファミリーは親日家で、日本のお土産をととても喜んでくれました。ホストマザーは、クラフトを職業にしている方で、大学が休みの日は一緒にクラフトをしたり、話し相手になってくれたり、私たちの緊張を早い段階で取り除いてくれる、本当にあたたかい家族でした。

また、私は料理することが好きだったので、アメリカの家庭料理の作り方を教わりたいということ、ホストマザーに伝えました。ホストマザーは快く引き受けてくれ、パンに卵と調味料をかけて作るブレッドプディングという料理やシアトルの魚介を使ったシーフードパスタなどいろいろな料理を、一緒に作りながら教えてもらうことができました。私だけでなく、ホストマザーも料理好きな方だったので、みそ汁や巻き寿司など日本の料理の作り方も英語とジェスチャーで伝えました。一緒に何かをするようにすると、自然と英語を話す機会も増え、ホストファミリーとのコミュニケーションをとるきっかけにもなりました。

②今後の決意

今回の留学での一番の目標は、「コミュニケーション能力の向上」でした。今回の研修を通して、そのことが達成できたのかなと思っています。これから、人前で発言する機会が多くなると思いますが、きちんと相手に伝わるような自己表出していきたいと思っています。最後になりましたが、今回の研修を支えてくださった多くの先生方、家族、友達、本当にありがとうございました。

この研修は、私にとって初めて家族以外と行く海外であった。そのため不安もかなり大きかったが、参加が決まった時からとてもワクワクしていた。この研修を通して私が学んだことば大きく二つある。

まず、何事も挑戦し経験することが大切だということだ。その中でも特に印象的だったのが食生活に関することである。アメリカの食生活というと、ハンバーガーや揚げ物など高カロリーのものが多いと思っていた。せっかく行くからにはいろんなものに挑戦しようと思っていたが、実際は私の予想とは大きく異なっていた。以前ロサンゼルスを訪れた時に比べ、シアトルはオーガニックフードが盛んな影響もあるのか、かなり日本人の口にも合い、ヘルシー志向な食生活を送っていると感じた。街を歩いていても、ハンバーガーショップは多くはなく、シーフードを使うクラムチャウダーなどの店が見られた。お菓子も、全米で売られているような既製品は砂糖の使い過ぎで甘ったるいと思うこともあったが、ケーキ屋で買ったものや、シアトル名物として知られているようなお菓子は、甘すぎることもなくおいしく食べることができた。私はクラスのプレゼンでも食事をテーマに取り上げたが、アメリカ人が日本食によるイメージを持っていることもわかり嬉しかった。今後、イメージだけで避けていたような料理にも挑戦していこうと思った。

また一方で、英語でのコミュニケーションというのがいかに難しいかというのを実感する留学ともなった。中学生レベルでの英語力があれば買い物をしたり、道を尋ねたり、生活自体はできる。だが、ホストファミリーや学校の先生と話すときに、自分の意見をきちんと述べたいときや、わからないことやもっと知りたいことを質問するときにとっても苦戦した。たどたどしい英語で何とか伝えようとはしたが、うまく伝わらなくてあきらめてしまった場面や、ニュアンスでしか理解できなかったこともあり、悔しいと思うことも少なくなかった。さらに、学校のクラスにアラブの国の生徒がいたのだが、もっとその国のことを知っていて、話せたらいいコミュニケーションがとれたらと思うとすごく感じた。私も出会った人が日本のことを知っていてくれたり、日本語を少しでも話してくれると、すごく嬉しかった。この経験は今後も生かしていけると思うので、まず日本国内のいろいろな地域のことを知ること、そして、世界各国について知っていきたいと思う。

わたしは、長期留学をすることも考えていて、今回そのための第一歩になればという思いもあり、参加させていただいた。その意味で自然豊かで人々もあたたかく、食事もおいしいシアトルという町に留学できたことは、とてもいい経験になったと思っている。

私はこの研修を通して、普段の生活では体験できないことをたくさんさせてもらいました。

英語での生活は、知っている単語と文法で何とか相手に伝わるように試行錯誤したり、時には相手が伝えたいことが全く分からず、つらいこともあったけど、いい経験になったと思います。UWでの授業は、英語を習うことはもちろんですが、クラスが一緒になった日本の他大学の子や他の国の方たちと話したり、一緒にダウンタウンに出かけたことは、私にとってとてもかけがえのない経験でした。

ホームステイ先もとてもいい方で、とても住みよい環境で過ごさせてもらいました。リビングで話したり、一緒にゲームしたり、サッカーをしたりしたことはわたしにとってとてもいい思い出です。

そして、県大の人ともとても仲良くなれました。みんなとてもおもしろい方たちばかりでした。ありがとうございました。

これからのことはあまり決めていないけど、TOEICを受けてみようと思いました。そして、世界で通用するようなエンジニアになりたいと思います。

It was twice for me to study abroad. Because of that, first I was not nervous at all. But it was not and I had many experiences in Washington.

From the first day my homestay suddenly disappeared and my roommate and I had to stay new family. It made me feel anxious however they took care of us gently. My host-mother works in the restaurant, so her cooking was so delicious. Also, her sons Win, Nicho, were very active. I often talked with them about a lot of things in English.

At University of Washington I prepared my presentation for the last class and interviewed my classmates in English. I watched an English movie. After school we went for a field trip, for example Pike Place Market, Mohai and so on. It was so exciting and I learned the history of Seattle and local lives.

I really enjoyed there. I had a big hamburger, hot dog, pizza, Chinese food, and sweet ice cream. But it is real that I saw many homeless and strange people. I also learned this is not Japan. That means that there is not good of security and it can be involved in a crime anytime. I felt I want you who have never been abroad to know this.

However there are a lot of things which are interesting. Because First Starbucks was born in Seattle, there are many Starbucks there and we could enjoy the coffee. At Space Needle and Columbia Center we are able to look over all the downtown`s view. When we went to see the Seattle Mariners game, we could watch the Major and I was able to get Iwakuma`s autograph!! I am really happy!!!

Finally this time the same again, I know my level of English and could meet people who are kind. I thought I should have studied English every day and I want to study abroad again! Therefore I felt I have to improve my level than before. Through this studying abroad, I learned many the culture and history and had valuable experiences. I would like to proceed to next step.